

★FIT-joinの役割

本学の授業改善を，教員・職員・学生の三位一体で改善する活動

学びのコミュニティづくり

発表：FIT-join

1. 目的

昨年度の課題：学生同士の縦と横の繋がりをつくる



今年度の目的と活動

★学生の学びへの意欲を高める

- (1) FIT-inセミナー
- (2) 学生同士の座談会
- (3) 教員，先輩インタビュー

★学生の声を教員に伝え
学生の視点から授業改善につなげる

- (1) 学生アンケート
- (2) FDカフェ

★その他

- (1) FIT学生団体サミット
- (2) メンバー募集・説明会
- (3) 振り返りの会
- (4) Future Design Vol.5の発行

2. FIT-inセミナー

実施期間:・4/2(金)、4/5(月)～4/7(水)

(1)FIT-inセミナーとは：

学部別のプログラムとして、**大学での学びに対する目標設定**
および振り返りの重要性を学ぶワークショップ、**学生企画による友人作り**等のプログラム

(2)目的：

- ・主体的な学びの動機づけ
- ・学びの仲間作りのきっかけ作り

(3)目標：

- ・グループ内での親交を深められるようにする
- ・オリエンテーション後も気軽に話せるような関係作りを目指す

(4)実施内容：

- ・アイスブレイク「Itoゲーム」（学生企画）
- ・ワークショップ「大学生活での目標について」（サポート）

(5)良かった点：

- ・グループワークが予想以上に盛り上がり、その後の友達作りにつながった
- ・メンバー同士で連携がとれていた

(6)改善点：

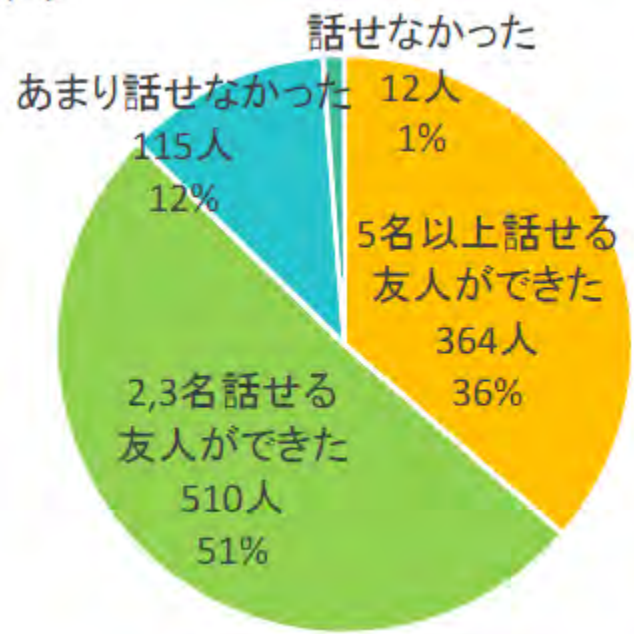
- ・あまり話せてないグループに対して、積極的に声かけする
- ・日によってスタッフが変わるため、やり方をスムーズに伝えられるようにする

Itoゲーム



(6)アンケート結果：

・2～5人以上話せる友人ができたという回答が全体の87%
「話したことの無い人と男女問わず仲良くなれた」
「連絡先を交換して終了後も会話できるようになった」
などの意見が得られた。



(7)個人の感想：

企画から司会進行など各作業で意見をだしたり指示だす
など、普段はやらない経験をすることにより、少しは自分自身
がレベルアップできたと考える。

3. 学生アンケート・FDカフェ

アンケート実施期間：7月2日(月)～7月21日(金)，FDカフェ：

(1)目的

授業や大学生活についてのアンケート

- ①学生が授業や大学生活に対して抱えている不安や改善して欲しい点について調査
- ②結果を分析し、教員との意見交換の場で授業改善に向けた提案
- ③ハイブリット授業の発展に向けて先生たちの意見も踏まえてアンケートを作成



教員との意見交換の場で改善案を提案 (FDカフェ)

(2)活動内容

- ・実施形態：Google Formで回答
- ・宣伝方法：メール，チラシ配り
- ・対象：全学部生
- ・回答数：555（目標回答数：1000）

(3)分析と考察

昨年度と比較し、授業の理解度高くなっている。また、対面授業とオンライン授業の両方でも理解度にあまり差がないように感じた。**対面とオンラインのハイブリットを目指すには両方のメリットを活かすことが重要だと考え**、このアンケートから学生が求める授業について具体的な提案をしたい。

対面：

- ・友人と勉強や交流ができる。
- ・わからないところをすぐに聞ける

オンライン：

- ・授業動画を何度も視聴し、復習ができる。
- ・時間を有効に使える。

ヒント

- ・毎回の講義を復習できるようなシステム（講義を動画で撮影）
- ・対面でもオンラインでも教授に**すぐに**質問できる（teamsでもリアルタイムで対応）
- ・学生が自由にteamsを使い、オンラインで勉強会。

対面とオンラインの差を埋めることが重要

(4)FDカフェ



①挨拶（倪教授）

- ・ 教育は大学の本質的な活動
- ・ 学修者本位の教育
- ・ 教職学の活発議論が必要

②学生アンケートの報告

- ・ 対面，オンラインのハイブリッド
- ・ 意見交換，質疑応答



③大学教育の現況と本学の教育改革の概要の発表（松木教授）

- ・ Society5.0
- ・ アクティブラーニング



④グループワークのファシリテート（北崎教授）

- ・独自のアンケートの共有
- ・授業の工夫
- ・オフィスアワー

⑤グループワーク

テーマ：「これからの学び」に対してどのような心構えを持つべきか

- ・個人ワークとグループワーク



④発表

- ・学生の意見と先生の意見の相違
- ・「勉強できる環境に感謝すること，自分の人生の主役になるという心構えを持つ」



⑥参加者への謝辞（村山教授）

- ・ FIT-joinの活動の周知
- ・ 教職学の取り組みの共有

(6)感想

学生アンケートだけで紙面で伝えるだけでなく、それを基に教職員と学生が討論ができ、それぞれの想いを共有することができた。

本学の学びに対する**現状や目指すべき到達点**を学生が知り、「**これからの学び**」について意見交換し、相互の考え方の相違やお互いの心構えを理解することができた。これにより教員と学生の繋がりが濃くなったと考える。このような場はとても貴重なので、多くの学生に周知してもらえよう来年度の課題にしたい。

4. 座談会

宣伝期間：9月17日～，実施日：10月13日

(1)目的：

- ・大学生活の悩みや不安の解消と自身のスキルアップを目指す
- ・ゲストスピーカーから刺激を受け、学んだことを成長に繋げる
- ・縦と横の繋がりを作り，学生同士が高め合える関係を構築するための手助け

(2)準備・実施方法：

- ①ポスター作り
- ②案内メール作成
- ③ゲストスピーカーのアポイント
- ④呼び込み
- ⑤参加者で班を作ってもらいゲストスピーカーがローテーションしてまわりフリートークをする。

(3)ゲストスピーカーの選定基準：

- ①大学生活で多くの経験をしている人
例：留学，部活，CS，資格等
- ②勉強や課外活動などを通して自分を変えることができた人



(4)結果

①集まった人数：ゲストスピーカー5人，聴講者：17名（内11名はjoinの学生）

②感想：

- ・自分も4年生になったら先輩たちのような立派な大学生になっていたい。
- ・先輩の知り合いがおらず，今回具体的な話を聞けて良かった。
- ・何か行動してみたいと思った。

(5)改善点と分析

①ほとんどがjoinの学生で、それ以外の学生が肩身が狭かった。

→joinの学生が積極的に話しかける必要がある。

②参加者が目標に達しなかった。

→呼び込みに工夫が必要。目的や雰囲気伝えられるとよかったかも。

(6)感想

- ・先輩の話をきいて影響を受けた学生が多くいた。
- ・卒業前に4年生が後輩たちに何かをサポートをできる機会をつくれてよかった。

5. 振り返りの会

実施日：11月24日

(1)目的：

- ・前期の活動を振り返り，FIT-joinがより良い団体になるように自分の行動を分析し目標を再設定する。
- ・全体での交流を経て，団結力を深める。

(2)内容：

①事前課題

事前にこれまでの活動ごとの振り返りや全体的な感想を提出。

②個人ワーク

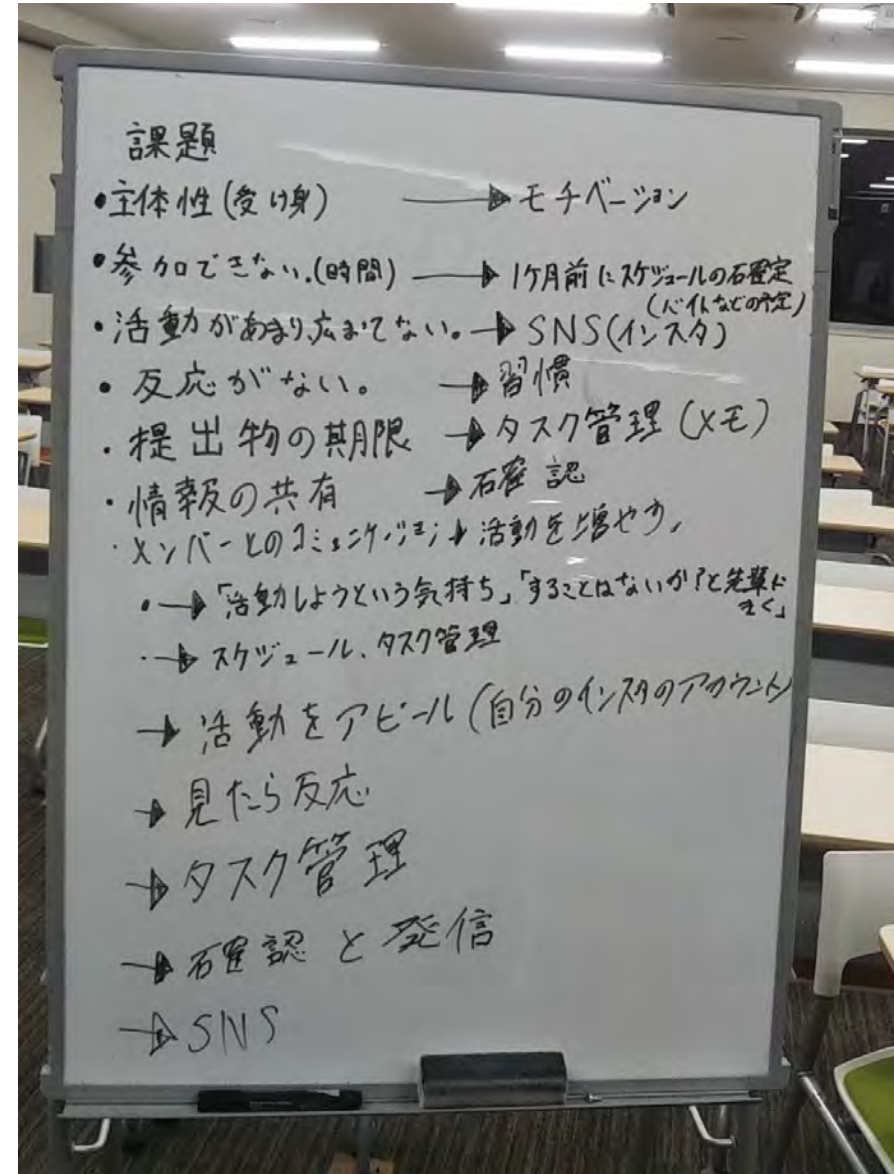
全員分をまとめた事前課題を共有し，自分自身でもう一度振り返る。

③グループワーク

「課題」，「課題に対する解決策」，「**自分にできること**」についてディスカッションをする。

④全体共有（発表）





5. 教員インタビュー

実施期間：11月

(1)目的

- ・先生方が授業で工夫や意識している点等のインタビューを行い、学内に広めることで、学生が教員方や授業に興味を持ち授業への積極的な参加を促す。
- ・勉強や部活動などで活躍している学生にもインタビューを行い、生活面で学生の刺激になるような情報の発信する。

(2)準備・実施方法

- ①学生アンケートを参考にインタビュー対象者を決める
- ②教員のアポイント
- ③各指定の場所でインタビューを行う
- ④インタビューを記事にまとめる

(3)インタビュー対象者と役割

池田 先生（情報通信工学科）

北崎 先生（電気工学科）

靱田 先生（知能機械工学科）

徳永 先生（教養力育成センター）

加塩 さん（電気工学専攻2年）



(4)選定理由

- ・授業の動画がわかりやすい
- ・丁寧に説明してくれる
- ・授業が分かりやすい
- ・オンラインと対面の両方の授業が良かった

(5)教員インタビューを通しての気づき

- ・授業を受けているだけでは気づけないような工夫を知れた
- ・学生の内に来ること、しておいた方がよいことなどを知れた
- ・先生と学生の距離感が縮まった
- ・先生の考え方や生き方など、多様な価値観を知れた

(6)みんなの感想（一部）

学生時代のことやハイブリット授業についての工夫を知ることができた
普段の講義で先生が学生に対して思うことを聞く良い機会となった
自分の人生にしっかりと軸を持っており、すぐに行動できる素晴らしい先輩



6. Join内の振り返り

早期メンバー募集

新年度は学生5人でスタート



現在学生22名で活動

Good

一人一人の負担が減った
活動の幅が広がった
影響力が大きくなった

Bad

全体の把握が難しい
統率を取りにくい

今年度は1年生が大きな割合を占めていて、学生生活や私生活のことで大変だったと思うけど、分からない所は相談したりしてしっかりと取り組んでくれた

7. 全体の振り返り

目的

学生同士の縦と横の繋がりを作る

学生の学びへの意欲向上

学生の声を教員に伝え学生の視点から授業改善に繋げる

(1) 良かった点：

- ・たくさん活動ができ、今後に繋がるベースを作れた
- ・座談会やセミナーによって縦と横の繋がりを増やせた
- ・アンケート内容を先生方に伝え、議論することができた

(2) 改善点：

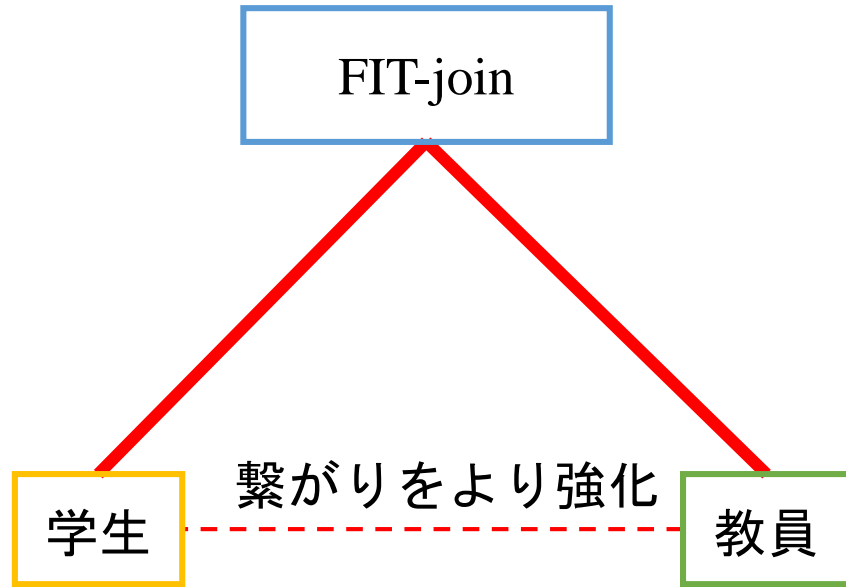
- ・アンケートや座談会などの活動を知ってもらえるような工夫
- ・消極的な学生を取り込む工夫

7. 全体の振り返り

これまで対面での授業が当たり前となっていたが、コロナ禍の完全な遠隔授業を経て、反転授業やハイブリッド授業などの授業形態で行われるようになってきたりと、数年で授業の在り方が大きく変わって来ていると思った。

また、そのような背景があるからこそ教員インタビューのような先生方の考えや思いを学生に伝える活動が必要だと思った。

8. 提案



2021年度：新しい企画を含め多くの活動を行った
→FIT-joinと教員の関係は着実に深くなってきている

2022年度：FIT-joinが主体で一般学生と教員の繋がりを強化する

具体的な提案： FIT-join主催で教員や学生が自由なテーマで話せるイベントを企画。

先輩学生や教員の人生経験を聞いたり、教育について熱く語り合う場をつくる。

例) 勉強, 就活, 人生経験, 資格, 課外活動, 部活, 教育, 授業など

8. 4年生の振り返り

(1) FIT-joinの活動の振り返り

(2) 大学4年間の振り返り



9. 意見交換

ご清聴ありがとうございました。
質問やコメント等をよろしくお願いいたします！